



都内企業の景況感

—第118回企業動向調査結果 平成26年6月実施—



◎ 都内中小企業の景況は小幅に悪化。先行きは改善の見通し。

	(景気指標 DI)	前回	⇒	今回	⇒	(先行き)
1. 都内中小企業の景況は、自社業況判断DI*が前回の17.0から今回14.7へと2.3ポイント低下、小幅に悪化している。先行きについて同DI*は20.3と高い水準となり、改善の見通し。	自社業況判断 DI*	17.0	⇒	14.7 (前回予想 18.0)	⇒	20.3
	売上高 DI*	16.3	⇒	15.9 (前回予想 20.1)	⇒	13.9
2. 売上高DI*は、前回の16.3から今回15.9へと0.4ポイント低下、経常利益DI*は、10.0から3.6へ6.4ポイント低下した。先行きについて売上高DI*は低下、経常利益DI*は上昇する見通し。	経常利益 DI*	10.0	⇒	3.6 (前回予想 11.8)	⇒	10.2
	販売価格 DI	4.3	⇒	15.6	⇒	13.4
3. 価格DIを見ると、販売価格DIは、今回15.6と11.3ポイント、仕入れ価格DIは38.7と3.7ポイント上昇した。販売価格DIは、1991年6月調査以来の高水準。先行きは、販売価格DI、仕入れ価格DIともに低下する見通し。	仕入れ価格 DI	35.0	⇒	38.7	⇒	37.8
	製造業製品在庫 DI*	-4.2	⇒	-8.2	⇒	...
4. 資金需要DIをみると、設備資金需要DI*は、前回の1.9から今回7.9へと6.0ポイント上昇し、運転資金需要DI*は前回の8.3から今回5.2へと3.1ポイント低下した。先行きは、両DI*ともに上昇する見通し。	設備資金需要 DI*	1.9	⇒	7.9	⇒	9.2
	運転資金需要 DI*	8.3	⇒	5.2	⇒	11.6
	金融機関借入 難易感 DI	26.7	⇒	26.7	⇒	...
	資金繰り DI	8.4	⇒	14.1	⇒	...
5. 金融機関借入難易感DIは、今回26.7で前回と変わらず、資金繰りDIは、今回14.1と5.7ポイント改善した。	(経営上の問題点)	(前回%)		(今回%)		
	同業他社との競合	15.3	⇒	15.5		
6. 経営上の問題点では、「同業他社との競合」がシェア15.5%で、前回同様第1位となった。第2位は、前回と同じ「原材料高・仕入れ価格高」と前回3位の「人材難」が共に13.5%で並んだ。第4位は、前回5位の「売上不振」で11.4%、第5位は、前回4位の「労働力不足・求人難」で11.3%だった。第6位は、「人件費等経費の増加」6.3%、第7位は、「合理化不足」5.7%、第8位は、「取引先からの値引き要請」4.8%であった。	原材料高・仕入れ価格高	14.0	⇒	13.5		
	人材難	13.3	⇒	13.5		
	売上不振	10.3	⇒	11.4		
	労働力不足・求人難	10.5	⇒	11.3		
	人件費等経費の増加	6.2	⇒	6.3		
	合理化不足	4.1	⇒	5.7		
	取引先からの値引き要請	7.8	⇒	4.8		

1. DI値は、アンケート回答総数を100%とした場合の、「好転」又は「増加」企業割合から「悪化」又は「減少」企業割合を差し引いた数値です。
 2. 天気図は自社業況判断*、売上*、経常利益*、設備資金需要*の4指標の平均値(前回11.3、今回10.5、先行き13.4)で判断したものの。前回は「晴れ」、今回は「晴れ」、先行きは「晴れ」。
 3. 季節調整済みの指標には、*マークを添付。原数値の指標はマークなし。
 4. 「先行き」「見通し」は、今後6ヶ月間の見通し。